

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シマ/統合物流センター	階数	地上3F
建設地	大阪府堺市西区築港新町1-5-15	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	0人
気候区分	6地域	年間使用時間	0時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年6月 予定	評価の実施日	2015年4月25日
敷地面積	51,679 m ²	作成者	大林組 児玉克史
建築面積	8,961 m ²	確認日	
延床面積	17,582 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 91%
 ③上記+②以外の 91%
 ④上記+ 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 一部ラック免震採用し、建物自体も基準の1.25倍の強度に設定。 LED照明を利用することによる、省エネルギー化。 	<ul style="list-style-type: none"> ディザスタープラン(津波対策等)を計画。
Q1 室内環境 ・事務所部分・作業エリアには快適な照度を確保。 ・内装材においてF☆☆☆☆を採用。	Q2 サービス性能 ・エントランスにスロープを設ける等バリアフリーにも配慮。 ・建築基準法の1.25倍の耐震強度を確保。
Q3 室外環境(敷地内) ・既存の緑地を残し、工業地帯の中に多くの緑があふれる敷地となっている。 ・白を基調とし、高さ等も周辺の建物と調和のとれた仕様となっている。	LR3 敷地外環境 ・附置義務台数以上の駐車場数の確保。
LR1 エネルギー ・LED照明による省エネルギー化。	LR2 資源・マテリアル ・省水型機器の採用。 ・エコマーク商品の採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)シマノ統合物流センター新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区築港新町1-5-15	1.5	A
	主用途/延床面積	工場 / 17,581.70 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
省エネ対策	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	3	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア					
CO ₂ 削減	評価項目			スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値			3.5	4
省エネ対策	評価項目			スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.2」のスコアによる評価値	建物全体	5.0	4	
		住居・宿泊部分	0.0		
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値				5.0
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値				3.0
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値				4.4
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値				3.0
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値				3.4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目			スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値			2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値			3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値			4.0	
安全快適な暮らし	評価項目			スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値			3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値			3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値			3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値			4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	